


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	水産 林務部	所管課	水産経営課		
施策名	道産水産物の国際競争力の強化			施策 コード	0712		
政策体系 (中項目)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展			政策体系 コード	2 (5) A		
関連重点 戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	6
SDGs				総合判定	遅れている		
予算額 (千円)	R 4	50,135	R 3	42,727	R 2	19,172	

施策目標	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる目標 (R5までに道産水産物輸出 1100億円) 達成に向け、主力品目の輸出強化、輸出先国・輸出品の拡大、衛生管理や輸出証明発行等を通じ輸出促進を図る。					
現状と課題	貿易の自由化が進む一方、コロナ禍や中国の台頭等道産水産物の輸出を巡る情勢はめまぐるしく変化しており、これらを踏まえた効果的な対策が必要。					
前年度 二次評価 意見	北海道食の輸出拡大戦略で掲げる数値目標達成に向け、食の輸出拡大戦略推進本部と連携し、道産食品の国際競争力の強化の取組の一層の推進を検討すること。	対応状況 (R4.3時点)	海外事業を行う生産者団体への支援及びアメリカでのPRフェアの継続とともに、新たに中国での活貝展示商談会、中国・香港での加工品商談会及びカレイ類製品開発を実施し、関係部との連携・役割分担により輸出促進や数値目標達成を図る。			

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>ホタテガイ等の貝毒監視、海水・水産物の放射性物質モニタリングを行い、その結果を公表。 中国向け及び韓国向け活水産物の輸出証明書を発行。 水産加工場のHACCP取得促進のため講習会等を開催し、衛生管理の意識高揚を図るとともに、迅速な輸出証明書発行体制を構築。 主要な輸出先国等をターゲットに、現地フェア・商談会やネット販促、製品開発を実施。</p>	<p>〈輸出環境の整備による輸出促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝毒や放射性物質のモニタリングの継続及びその結果の公表による安全性のPR ・輸出証明書の発行による輸出伸長のサポート (R1 2,712件、R2 1,938件、R3 2,924件) ・水産加工場のHACCP認定取得施設数(対米、EU)の増加 (R2.4月:99、R3.4月:106、R4.4月:112) <p>〈品目、相手先国の拡大による輸出促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産水産物フェアの開催、ネット販促 (R3 フェア開催 (シンガポール、米国等)、ネット販促 (中国、豪州等)) ・高付加価値製品のPR (R3 嗜好調査 (中国、香港)、展示会出展 (中国))

連携状況	北海道食の輸出拡大戦略の展開にあたり、関係部(経済部、総政部、農政部)や生産者団体等関係先と連携を図るとともに、HACCP普及推進には保福部と連携し生産海域モニタリング等を行っている。上海輸入博 (R3.11.5~10) では、経済部との連携により、北海道ブースに水産加工品PRコーナーを設け、展示・試食等を実施することにより、北海道の多彩な食の魅力をPRすることができた。
緊急性 優先性	「北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>」では、R5までに道産水産物・水産加工品の輸出額を1100億円にすることを目標としており、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込み(R2:706億円)からの回復に向けて、コロナ禍による購買形態の変化に対応した取組(巣ごもり需要と感染予防意識の高まりを踏まえた高付加価値製品のPR等)を拡充し、緊急かつ優先度の高い施策として展開している。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	道産水産物の国際競争力の強化	施策コード	0712
---------------	-----	----------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	億円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
道産水産物・水産加工品輸出額 (暦年)	目標値		-	-	-	1,100	64.2%	D
	実績値		937	842	706	-		

設定理由 「北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>」で掲げる目標(~R5)水準で、道内港から輸出された通関額及び道外港から輸出された通関額推計の合計。中間年の目標は設定していない。

分析（主な取組と成果）

- ・貝毒や放射性物質のモニタリングやHACCP取得のための講習会実施等による輸出促進
- ・中国及び韓国向け活水産物の輸出証明書の発行による輸出の伸長のサポート
- ・主要な輸出先国での現地フェアや、水産エコラベル取得費用の補助による輸出促進

上記の取組を行ったものの、主要な輸出水産物であるホタテについて養殖ホタテの斃死による減産、輸出単価の低下やサケマス全道的な水揚げの減少により、R2実績値は前年を下回る結果となった。
経済活動の再開等により道内港実績はコロナ前の水準まで回復しつつある（H30 624億円→R1 538億円→R2 436億円→R3 617億円）ことから、最終目標達成に向けて今後もさらなる取組の継続が不可欠。

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	D	総合判定	遅れている
------	---	------------	---	------	---	------	-------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた 対応方針	①	輸出目標額の達成に向けて、海外事業を行う生産者団体への支援や現地商談会の実施など、輸出先国や輸出品目の拡大に向けた取組を継続する。
	②	EU向けホタテ輸出に必要な海域管理、道産水産物の安全性PR、HACCP普及推進講習、活水産物の輸出証明発行など、引き続き輸出環境の整備により輸出の促進を図る。
	③	国際情勢や輸出環境に変化が生じ、それが道産水産物の輸出に影響し、又は影響が強く懸念される状況となった場合、必要な措置を講じる。

令和4年度 事務事業評価調書	施策名 道産水産物の国際競争力の強化	施策コード 0712
-----------------------	---------------------------	-------------------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度							令和4年度		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0250	-	一般	衛生管理対策・ホタテガイ海域拡大管理推進事業費	対EU輸出向け衛生基準をクリアするために必要な体制整備等の対策を講じる。	水産経営課		3,057	3,057	0.6	1.4	2.0	18,625	②	改善(指標分析)	
0251	-	一般	水産物流通調整対策費	輸入対策及び流通問題に関する国への要請、情報収集等。	水産経営課		289	289	0.3	0.7	1.0	8,073	③	改善(指標分析)	
0252	-	事務	水産物の輸出振興に関する企画、調整、調査に関すること	水産物の輸出振興に関する企画、調整、調査に関する事務全般。	水産経営課		0	0	0.4	0.0	0.4	3,114	③	改善(指標分析)	
0253	-	事務	輸出手続きに関すること	中国向け及び韓国向け活水産物の輸出証明書を発行。	水産経営課		0	0	1.3	0.0	1.3	10,119	②	改善(指標分析)	
0254	-	一般	道産水産物輸出市場対策事業費	道産水産物の安全性PRや水産加工場のHACCP認定の取得促進。	水産経営課		3,650	701	0.3	0.0	0.3	5,985	②	改善(指標分析)	
0255	-	一般	道産水産物輸出拡大推進事業費(創生交付金)	北海道食の輸出拡大戦略に基づく、道産水産物の販路拡大対策。	水産経営課		43,139	14,017	1.1	0.0	1.1	51,701	①	改善(指標分析)	
計							0	50,135	18,064	4.0	2.1	6.1			

